

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	社会科（地理・歴史）

1. 学習のねらい

地理分野	○ 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。 ○ 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度とらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどに関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。 ○ 地図や統計、映像など地域に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した課程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたり、発表や討論を行うことができる。 ○ 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。
歴史分野	○ 歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を育てる。 ○ 歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○ 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。 ○ 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。
使用教材	教科書：中学生の地理（帝国書院） 新しい社会歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材：ビジュアル地理（とうほう） グラフィックワイド歴史（とうほう） 地理の学習（浜島書店） 歴史の学習（浜島書店）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組もうとしている。」 ・意欲的に発言・作業活動に取り組もうとしている。 ・学習の準備や課題を期日までに提出しようとしている。 ・世の中の様々な事柄に興味をもっている。	・観察（授業態度・発言） ・課題などの提出状況 ・ノートの整理 ・自己評価 ・テスト（定期テスト・小テスト）
② 社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ、表現できる。」 ・多面的に考察することができる。 ・事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができる。 ・予想や事実を含め、理論立てて記述、論述できる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
③ 資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに、適切に選択し活用できる。」 ・地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができる。 ・課題を追究することに必要な資料を収集し活用できる。 ・資料を活用したり、図表にまとめたりできる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
④ 社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ・基本用語を理解し、正しく漢字で書き、説明することができる。 ・社会的事象の因果関係や基本的背景が理解できる。	・課題 ・テスト

3. 第1学年学習計画 【前期地理 後期歴史】

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
地理分野	第1部 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 1,地球をながめて 2,いろいろな国の国名と位置 3,緯度と経度 4,地球儀と世界地図の違い 2章 世界各地の人々の生活と環境 1,世界のさまざまな生活と環境 2,暑い地域の暮らし 3,乾燥した地域の暮らし 4,温暖な地域の暮らし 5,寒い地域の暮らし 6,高地の暮らし 7,世界各地の衣食住とその変化 8,宗教と生活とのかかわり 3章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州 4章 世界のさまざまな地域の調査 1 調査テーマを決めよう 2 資料を集めて調べよう 3 調査結果をまとめよう 4 調査結果を発表しよう 第二部 4章 身近な地域の調査	①世界の地域構成の枠組みについて関心を高め意欲的に追究しとらえようとしている。 ②世界の地域構成を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③地球儀や世界地図に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。世界の地域構成をふまえて大まかに世界の略地図を描いている。 ④世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。 ①世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。 ②世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活のようすとその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。 ①世界の諸地域の地域的特色に関する関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 ②世界の諸地域の特色を各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 ①世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ②世界のさまざまな地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界のさまざまな地域の調査を行う視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界のさまざまな地域の調査について、地域的特色とともに、世界のさまざまな地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。
	1章 歴史の流れをとらえよう 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと宗教のおこり 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 2節 東アジア世界との関わりと社会の変動 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	①日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対する関心を高め、意欲的に学習している。 ②日本の歴史の大きな流れや時代の特徴を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の歴史の大きな流れや各時代の特徴に関する様々な資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。 ④時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。 ①世界の古代文明や宗教のおこりに関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ②古代文明の特色や宗教のおこりや古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ①武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ②武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解するとともに、中世の文化の特色と、その中に現在に結び付くものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 ①近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ②近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特色を多面的・多角的に考察し判断している。 ③近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する資料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもつてのぞみましょう。 ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。 ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなどして、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。 ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。 ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信をもちましょう。 ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。
	家 庭	・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。 ・ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。 ・テストで間違えた問題は復習しましょう。 ・普段から新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味をもったりしたことがらはすぐに調べる習慣をつけましょう。